

味の素株式会社での CO₂見える化の取り組み



2012年4月24日

味の素株式会社

イノベーション研究所

資源環境技術グループ長

松本 慎一

1

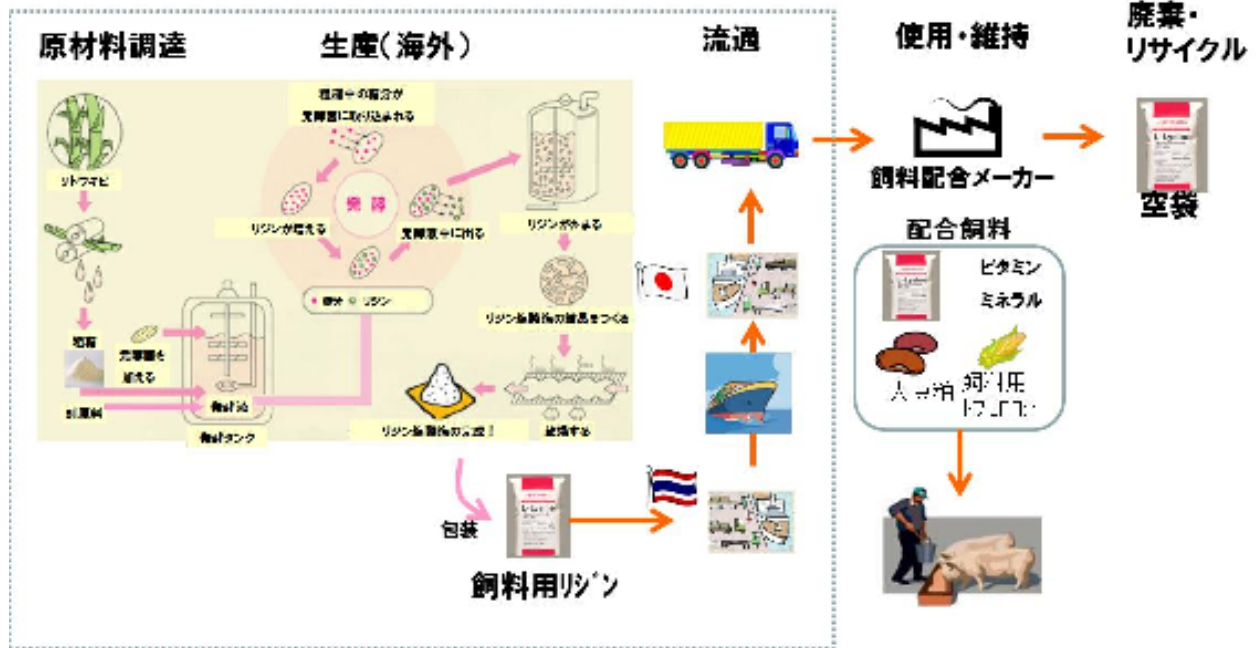
「CO₂見える化」の取り組み

- ・ 2003 包材のCO₂排出量算定方法開発
- ・ 2004 食品・アミノ酸CO₂排出量算定方法開発開始
- ・ 2007 食品・アミノ酸原料のCO₂排出係数DB作成
- ・ 2008 「冷食鶏のから揚げ」でCFP実用化研究会に参画
- ・ 2009 CFP制度試行事業に参画
- ・ 2010 「飼料用アミノ酸」PCR認定 (PA-BU-01)
- ・ 2011 「アミノ酸、ペプチドおよび核酸」PCR認定 (PA-BU-02)
- ・ 2011 「飼料用リジン」CFP認証 (CV-BU01-001)
- ・ 2012 「アミノ酸、ペプチドおよび核酸」8品目申請中

2

「アミノ酸、ペプチドおよび核酸」(B to B 発酵素材)

例「飼料用リジン」



3

製品の広がり

あしたのもと
AJINOMOTO



おいしさと健康を追求し、
さまざまな領域へ。

1939年(昭和14年)創業

1939年(昭和14年)創業から始まり、多岐にわたる食品、アミノ酸、医薬品、そして健康食品など、世界のトップ企業として、世界の食文化に貢献しています。現在は、すべての消費者の健康と幸福のために、4つの主要な領域に注力しています。

グローバル展開

あしたのもと
AJINOMOTO



飼料用リジン

1. グローバル商品 ⇒ CO₂「見える化」で世界動向に対応
2. GHGの低減効果による環境貢献

144kg-CO₂e/25kg-塩酸 L-リジン
CV-BU01-001



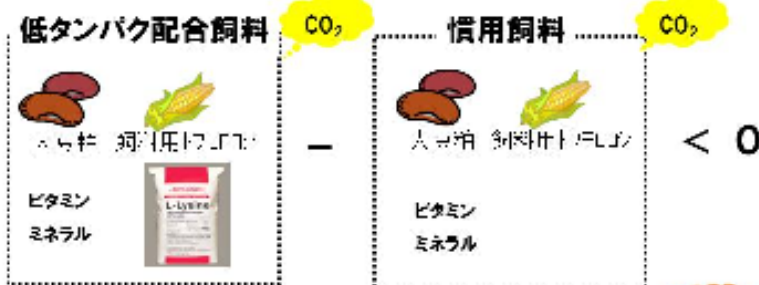
飼料用リジンのGHG低減量試算



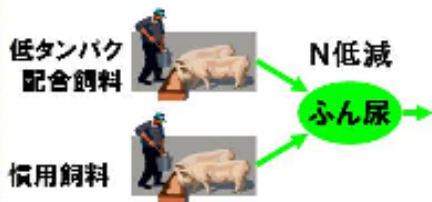
塩酸L-リジンのCFP
5.8kg-CO₂e/kg

J-VER:「低タンパク配合飼料利用による豚のふん尿処理からのN₂O排出抑制」
国内クレジット:「豚への低タンパク配合飼料の給餌」

↓試算



塩酸L-リジンのCFP
キャンセル



塩酸L-リジンのGHG低減量
15kg-CO₂e/kg

7

発酵素材の環境貢献

発酵素材
アミノ酸、核酸、アスパルテーム



AJINOMOTO.



8

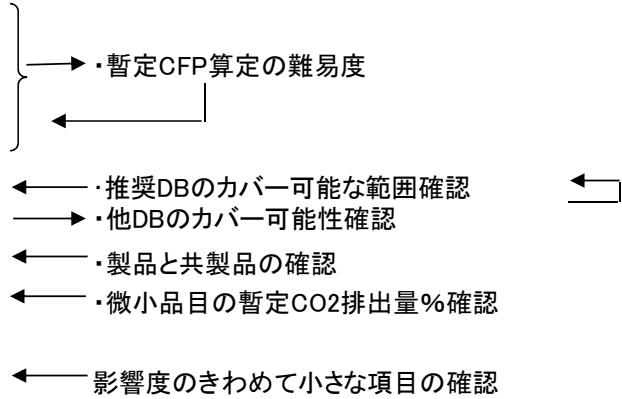
PCR作成上のポイント 1

PCR作成と並行して暫定CFP算定を行い、CFP算定が困難なPCRにはしない

PCRの作成

- ・算定範囲の設定
- ・**一次データの収集範囲**
- ・生産時のInput、Output量の決め方の設定
- ・品目毎の排出原単位のあてはめ
 - ・主原料
 - ・副原料
- ・製品と共製品の配分基準の決定
- ・**カットオフ基準の設定**
- ・製品輸送算定範囲の設定
- ・**影響度の極めて小さな項目を評価対象から削除**
- ・付加情報内容の設定

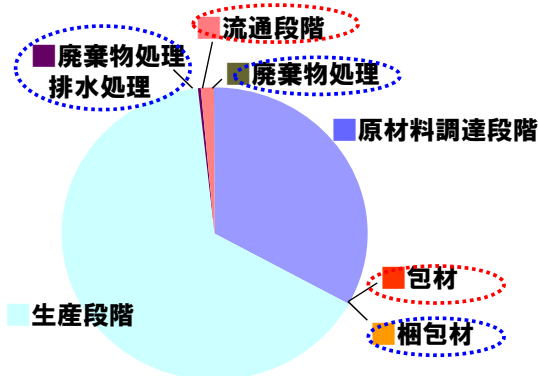
暫定CFPの算定



PCR作成上のポイント 2

影響度の極めて小さな項目は評価対象外項目へ

ライフサイクルに占める割合
(飼料用リジン)



フレキシブルなカットオフ・ルールで末節カット

- ⋯⋯: 後のPCRで評価対象外項目とした
- ⋯⋯: 今後、評価対象外としたい項目
- ⇒算定の労力減らしスピードと効率アップ

同一製品群
(アスパルテーム)

1kg×10
包材<1%

25kg

300kg

10品目以上
⇒包材を除くと
同一製品群は同一CFP/kg適用

御清聴有難う御座いました



無限のあしたのために。

あしたのもと
AJINOMOTO®